

2019年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 小牧商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価								
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、本市商工業の太宗をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化のほか、創業・経営革新への積極的な支援を実施するため巡回及び窓口において相談・指導を行う。巡回相談指導では、小規模事業者と接点を持ち信頼関係を築くことや事業計画策定の意義を伝えることを重点に掲げ、各種施策の周知や経営実態と課題等について伴走型支援に努める。	・巡回窓口指導延件数 2,580件 ・巡回窓口指導実企業数 984社 ・課題解決提案件数 60件 ・経営革新承認件数 8件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 179.2%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			本市商工業者の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定化に努め、巡回窓口において相談指導を行い、小規模事業者並びに創業者の支援に寄与することができた。また、課題解決提案によって指導の成果を明確にすることができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	経営発達支援計画に基づき取り組む。その他、「働き方改革」、「事業承継」、「消費税軽減対策」を重点的に取り組む。
講習会等	地域内事業者の大多数を占める小規模事業者の振興・安定に寄与することを目的に、経営知識の普及を図る。	講習会開催回数及び受講者数 ・集団 2回 16人(内、経営革新1回5人) ・個別 52回 314人 計 54回 330人	小規模事業者	指標	開催回数 (達成度 74.0%)			指標	(達成度 %)			・個別講習会 個々の税務申告内容の確認ができた。 ・集団指導 専門技能、最新知識の習得により事業者の資質向上に役立つことができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	確定申告・決算指導会は、新型コロナウイルスの影響により、一部4月に延期した。
記帳継続指導	管内の小規模事業者(個人)を対象に、日々の記帳処理から決算・申告までを習得し自主申告する事を目的に、定期的に対面指導を行う。経営状態が把握できる様になることで、経営力強化や事業計画策定など経営発達支援にも結び付ける。	・指導対象者数 28件 ・指導延日数 284日 ・指導延回数 547回	管内の個人の小規模事業者	指標	受託件数 (達成度 100.0%)			指標	(達成度 %)			小規模事業者が帳簿記帳の知識を身に着けることにより、経営体質の強化と安定を図ることができた。 クラウド版会計ソフトの導入により、経営・金融支援が場所を選ばず、より迅速に取組むことができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	記帳指導・財務分析に加え、事業計画策定支援等を指導員と連携して支援する。
若手後継者等育成事業	小規模事業者の振興と安定に寄与することを目的に、経営の改善発達を支援する事業を推進するにあたり、若手後継者等の育成・支援を通じて経営資質の向上を図る。さらに青年部については自らの経営力向上および自己研鑽を目的に研修会への参加や勉強会の開催、全国商工会議所青年部連合会主催の全国大会の総会及び講演会等へ参加を通じて地域内の商工業の振興を図る。	・青年部 部員数 67人 役員会・総会等 16回 ・女性会 会員数 47人 役員会・総会等 18回	小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員	指標	青年部部員 (達成度 101.5%)			指標	女性会会員数 (達成度 90.4%)			役員会、資質向上のための研修会等を通じて自己研鑽、組織運営の手法を学び、経営知識向上の一助とした。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	継続して組織強化に取り組む。手法は、役員等を中心に協議・決定し推進する。
地域振興祭事業	小牧市民の各世代のエネルギーを結集したまつりが開催されるにあたり、産業界として協力の下、小牧夏まつり・小牧市民まつりが行なわれる。そのため実行委員会に参加するとともに催事に参画し、商工業者の団結とまちの活性化に寄与する。	・小牧夏まつり来場者数 50,000人 当日1日計1回 ・小牧市民まつり来場者数 170,000人 準備1日、当日2日、後片づけ1日 計4回	中小・小規模事業者	指標	小牧夏まつり来場者数 (達成度 166.7%)			指標	小牧市民まつり来場者数 (達成度 85.0%)			市街地において賑わいを創出することで、地域コミュニティの醸成や地域振興に結びつける機会とするとともに、商工業者の団結とまちの活性化に寄与することができた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	2年目の小牧夏まつりには青年部として参画。行政や関係団体と連携し、小牧市民はじめ市外からの交流人口増を図る。
街づくり事業	商店街組織の衰退が進み、中心市街地活性化の主体となることが厳しい状況に陥っている。こうしたなか、商店街・市民団体・市・商工会議所を中心とした協働組織体「小牧にぎわい隊」の自主自立に向けた運営等の支援を行う。	総会 1回 正副会長会議 10回 役員会議 10回 イベント 10回 計31回	中心市街地商店街(小規模商業者)	指標	会議等開催回数 (達成度 88.6%)			指標	(達成度 %)			商店街や市民団体、行政をはじめ関係団体との連携のもと、小牧市民や市外から多く来場することで中心市街地の賑わい創出に結びつけることができた。	総合評価	B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	小牧にぎわい隊事務局強化に向けた支援を通じ、組織運営と商店街の支援を図る。
地域振興事業	小牧市の地域を7地区に分け商工会議所の事業の一翼を担い、会員事業所への情報提供(小規模事業者を中心に)を行うなどし、地域商工業の振興に資する。	・外山ブロック会議 4回 事業 3回 ・小牧ブロック会議 2回 事業 2回 ・味岡ブロック会議 2回 事業 3回 ・篠岡ブロック会議 4回 事業 2回 計12回 計10回	中小・小規模事業者	指標	会議開催回数 (達成度 104.8%)			指標	(達成度 %)			地域の評議員と協力して各種事業を展開し、施策の橋渡しを行うことで市内小規模事業者に経営改善普及事業施策の浸透が図れた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	要望事項につなげるべく各地区事業者からの「声」を集約、加えて会議所・相談所事業の周知・PR等を目的に実施する。
経営相談・指導事業	中小・小規模事業者の求める専門的ニーズはより高まっており、企業の発展は、専門的なアドバイスや側面的な支援が必要になっているため、専門家を活用してそのニーズに応える。	・相談室運営に関する事項 定例開催 (税務・消費税軽減対策) 随時開催 (法律・特許・社会保険労務士) 相談室開催数 計56回	中小・小規模事業者	指標	相談室開催数 (達成度 140.0%)			指標	(達成度 %)			小規模事業者が経営上のさまざまな問題に直面した場合には、無料または安価でより専門的なアドバイスを受けられる機会を商工会議所が提供することにより経営のニーズに応えた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	小規模事業者の経営課題の解決、利用者満足度の向上を主眼に、必要性の高い相談室の開催など時事的事項を考慮し開催する。
商談会事業	営業力の限られる中小・小規模事業者にとって、取引先の新規開拓は重要だが難しい問題である。このため、商談の場を提供することにより、取引の機会拡大を図る。	・2019年度地域商談会(尾張会場) 14件 ・アライアンス・パートナー発掘市2019 32件	中小・小規模事業者のうち中小・小規模の全業種	指標	地域商談会(尾張会場)に参加の受注企業数 (達成度 175.0%)			指標	アライアンス・パートナー発掘市エントリー企業数 (達成度 160.0%)			地域商談会(尾張会場)：受注企業・発注企業が各々が持つ得意分野や独自技術などを紹介する場所を提供できた。 アライアンス・パートナー発掘市：新製品開発など協力してくれるパートナー探しや、商談のチャンスを提供できた。	総合評価	A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	金融機関と連携強化を図り、更なる商談会実施PRを図ると共に、WEB支援・事業計画策定支援等と併用した販路拡大手法として支援先へ提案し、参加企業増加に努める。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

2019年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 小牧商工会議所

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価					
				指標	実績	指標	実績	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実施方法		
青年部・女性会事業	青年部 次代の地域経済を担う経営者、後継者の相互研鑽の場として、また、青年経済人として資質の向上と部員相互及び卒業生であるOB会との交流を通じ、企業の発展と豊かな地域経済社会を築く。 女性会 多様化する商工会議所事業の一翼を担い、女性の特性を活かして商工会議所事業を推進し、もって商工業の総合的な発展を図る。	・青年部・女性会が主催する事業 青年部員による事業の運営、上部団体(県連等)、青年部OB会の活動に参加28回 女性会会員による事業の運営、上部団体(県連等)の活動に参加14回	小規模事業者を中心とする青年部員・女性会会員	指標 青年部事業数(会報発行を含む) (達成度 96.6%)	指標 女性会事業数(会報発行を含む) (達成度 100.0%)	部員による事業の企画・実施や、上部団体等の活動に参加することにより、組織運営の手法を学んだ。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①現状維持②下げる	役員等を中心に協議・決定し推進する。資質向上に資するよう効果的な事業運営の支援に努める。		
部会・委員会事業	部会や委員会活動支援を行い、情報提供や企画事業の実施並びに中小企業施策への積極的対応(説明会・相談会等)をすることで、個別企業の発展に資し、企業の連帯感の醸成をすることを目的とする。また、地域の振興と消費喚起を図る。	・理財金融業・交通運輸業・一般製造業・窯業ゴム化学工業・機械金属工業・建設業各部会 ・産業振興・観光事業各委員会 ・名古屋コーナン・婚活事業各プロジェクト事業 計16回	中小・小規模事業者	指標 事業開催回数 (達成度 94.1%)	指標 (達成度 %)	中小・小規模事業者のニーズ把握とともに、小規模事業者の事業参加の機会を増やすことができた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 現状維持	部会・委員会内にて中小企業・小規模事業者のニーズを把握し、各種事業展開に反映させる。なお、婚活事業については今年度をもって終了する。		
労働保険事業	労働保険への加入手続、保険料の申告・納付手続、その他雇用保険の被保険者に関する手続等各種の事務処理は中小企業の負担となることが少なくない。労働保険事務組合を設置することにより中小企業事業主の負担を軽減するとともに各種制度を推進する。	・労働保険事務組合小牧商工会議所運営に関する事項委託事業場数 474件 取得・喪失給付事務 800件 労働保険事務組合連合会等会議・研修会 4回 ・小牧商工会議所建設一人親方組合運営に関する事項委託事業者数 57人	中小・小規模事業者	指標 労働保険事務組合委託事業場数 (達成度 99.8%)	指標 一人親方組合委託事業者数 (達成度 103.6%)	小規模事業者の事務負担量を大幅に削減し、助成金や各種給付申請についても適切な助言を行い、労働保険制度を有効に活用できた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持	未加入事業所の適用を促進し、委託事業所に現状に合った事務手続きや適正な納付を推進していく。建設一人親方組合の普及・PRを図り、労災事故時の被災者への迅速な対応に努める。		
雇用促進事業	個人の能力を大いに発揮し業務に精励し、在籍する事業所への貢献・功績があった従業員を表彰することで、地域企業への就業者の確保や定着促進を図ることを推進する。また、中小・小規模事業者への経営支援策の一環として、身近な優良会員企業を発掘し顕彰しPRする機会を創出し当該企業の事業活動の一助とする。	・会員中小・小規模事業者を対象に優良従業員表彰制度や会員企業表彰制度を巡回し周知を行なう。更には、所報を通過して募集し総会にて表彰を行う。 優良従業員表彰者人数17名 会員企業表彰企業数 0社	会員中小・小規模事業者	指標 優良従業員表彰者人数 (達成度 141.7%)	指標 会員企業表彰企業数 (達成度 0.0%)	・優良従業員表彰 在籍する事業所への貢献・功績があった優良従業員を表彰することで、地域企業への定着促進が図れた。 ・会員企業表彰申請企業がなく、当表彰事業実施せず。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 両方現状維持	中小・小規模事業者の雇用安定、定着化に寄与することなどをPRすると共に、当制度を活用しやすい制度内容に改定し、対象事業所の事業活動の一助となるよう実施する。		
税務関係団体指導事業	小牧税務署や他団体と連携し、税に関する情報交換や、傘下中小・小規模事業者への税務知識普及と推進を行う。	・小牧法人会小牧4支部、小牧税務連絡協議会企画運営委員会等共催にて会議の開催及び運営指導を行う。 会議、事業等開催回数16回	中小・小規模事業者	指標 会議・事業開催回数 (達成度 106.7%)	指標 (達成度 %)	管内中小・小規模事業者の税務知識、適正納税の普及を関係団体と連携して推進が図れた。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 上げる	事業承継税制や消費税・所得税などの税制改正への対応に対して、引き続き関係団体と連携して支援事業の充実を図る。		
産業団体等指導事業	小規模事業者主体の団体への組織運営手法などの指導を通じ、参加組合員の経営改善の一助とする。	・小牧喫茶店組合、愛知県商店街振興組合連合会小牧支部、小牧市発展連絡協議会、小牧市北里発展会、小牧市東部商店街振興組合、大山川を愛する市民の会の運営指導を行う。 会議・事業等の開催回数 計22回	小規模事業者を中心とする地域商工業者・団体	指標 会議・事業開催回数 (達成度 50.0%)	指標 (達成度 %)	団体への事業支援による地域振興を図った。 (大山川を愛する市民の会は解散)	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 下げる	各団体の事業を通じ、組織強化を目指し、また、事業支援による地域振興を図る。大山川を愛する市民の会は2019年度に廃止となった。		
情報収集提供事業	当所が発行する「所報つづ」「相談所便り」「メールマガジン」により小規模施策、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度の利用を勧奨する。また商工振興モニター制度による小規模事業者の経営情報等の収集と取りまとめを行う。	・所報つづ 12回 ・相談所便り 3回 ・メールマガジン 24回 ・商工振興モニター 100件	中小・小規模事業者	指標 メールマガジン発行回数 (達成度 88.9%)	指標 (達成度 %)	中小・小規模事業者向け施策や各種事業等の情報提供を行い、施策を活用したいと考える中小・小規模事業者が増えた。	総合評価 B	自己評価 B	調査結果 B	満足度 B	補足	目標 下げる	小規模事業者にとって有益となる情報発信を継続して行う。 新型コロナウイルスの影響を考慮し、各種施策をメールマガジン号外として柔軟に対応し周知を図る。		
人材育成事業	各種研修、検定試験を実施することにより、経営や仕事上の基礎能力の向上に寄与する。	・社員研修 新入社員研修、労働安全衛生法に準拠した職長研修(2回)、TWI(監督者訓練)講習会、ロボット導入事例紹介講習会 計5回 ・各種検定 簿記検定3回、珠算検定3回、リテールマーケティング(販売士)検定2回、ビジネス実務法務検定2回、福祉住環境コーディネーター検定2回、ビジネスマネージャー検定2回 計14回	管内小規模事業者、中小企業者及びその社員、一般市民	指標 社員研修(実施回数) (達成度 100.0%)	指標 各種検定(実施回数) (達成度 100.0%)	各種講習会等の開催で地区内小規模事業者等の人材育成に寄与した。	総合評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標 ①下げる②現状維持	人材教育を主とした観点から生産性向上を目的とした観点に重点をおいた講習会を実施する。ニーズ把握に努め、受講者の増加及び受講者満足度の向上に努める。		

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。